

ごあいさつ

2008年秋、こころの未来研究センターは稲盛財団記念館に研究の場を移し、その新たな門出を記念して『こころの未来』の刊行を開始しました。その後、『こころの未来』は多くの方々に親しく目を通していただける学術広報誌として順調に発行を続けています。今号は「徳ときずな」をテーマに編集しました。巻頭のインタビューは、こころの未来研究センターの創設にもご尽力くださった稲盛財団理事長・稲盛和夫氏です。日本を代表する国際的な企業人として多くの経営者を育て、広く社会に貢献するさまざまな事業に取り組んでこられた稲盛理事長に、大企業を率いる代表者としての思想や、その生き方を支える哲学についてお話を伺いました。3月11日の東日本大震災を経験し、わたしたちは、これまでの常識や価値観を、根底から考え直すべき時を迎えています。「徳ときずな」をめぐる多彩な論考が、人と人、人と社会を結ぶきずなの在り方を考える一助となることを願っています。

2011年9月

こころの未来研究センター長 吉川左紀子

こころの未来
KOKORO RESEARCH CENTER
KYOTO UNIVERSITY

2011 vol. 7

目次

ごあいさつ	吉川左紀子
01 巻頭言 わかることによってわからなくなる	龍村 仁
02 稲盛和夫理事長インタビュー 「動機善なりや、私心なかりしか」	稲盛和夫+吉川左紀子+ 鎌田東二+平石 界
論考〈特集・徳ときずな〉	
12 心のきずな——仏教思想を手がかりとして	木村清孝
16 進化シミュレーションで絆と徳を探る——頼母子講を例に	中丸麻由子
20 チンパンジー・ボノボにみる「徳」の起源	山本真也
24 徳と絆	上田紀行
エッセイ	
28 幸せを考えさせる国	吉川左紀子
29 「徳が先か、きずなが先か。それが問題だ」	平石 界
研究プロジェクト	
30 感情・認知機能におよぼす他者・モノの影響	吉川左紀子
31 共感的対話の相互作用性	吉川左紀子+長岡千賀
32 社会的ネットワークの機能と性質：「つなぐ」役割の検証	内田由紀子+竹村幸祐
33 新人看護師のストレス予防とSOC改善調査	カール・ベッカー
34 青年期の社会的適応：ひきこもり・ニートの文化心理学的検討	内田由紀子
35 日米における糖尿病患者の心理・社会的側面と療養状況の関連	内田由紀子
36 ものへの依存・人への依存	河合俊雄
37 発達障害への心理療法的アプローチ	河合俊雄
38 発達障害と読み書き支援	吉川左紀子+小川詩乃
39 こころの研究ニュースの発信：こころ学ブログ	平石 界
40 「社会的こころ」の多様性の進化的・遺伝的基盤に関する研究——双生児法による	安藤寿康
41 利他主義の進化認知科学的基盤	小田 亮
42 こころと身体をつなぐメディアとしての味覚研究：食の「質」をふまえた食教育の検討	荒牧麻子
43 認知的文化差異の基盤に関する研究：調整型・影響型対人関係の役割	宮本百合
44 こころの未来研究センター滞在記	ベス・モーリング
46 センターの動向（2011年4月～9月）	
編集後記	